

「論理的思考の実践①～ディベートとは？・テーマ決め～」教員指導案

- (1) 目標：ディベートを通し、論理的思考力を育成する。
- (2) 教材：①「論理的思考の実践①」【資料A】ディベートとは（A 4 両面 各自 1 枚）
 ②「論理的思考の実践①」【資料B】テーマ・論題一覧（A 4 両面 各班 1 枚）
 ③「論理的思考の実践①」【課題説明】ディベート準備レポートについて（A 4 片面 各自 1 枚）
 ④「論理的思考の実践①」【課題プリント】ディベート準備レポート（A 3 両面 各自 1 枚）
 ⑤「論理的思考の実践①」【資料C】情報収集について（A 4 片面 各自 1 枚）
 ⑥「論理的思考の実践①」教員指導資料（A 4 片面 1 枚・本紙）
- (3) 持ち物：筆記用具、AKC ファイル、タブレットパソコン
- (4) 事前準備：YouTube(※1)を視聴し、ディベートの流れについて説明できるようにしておく。
 ※1 「初心者向け 第 26 回ディベート甲子園 ディベートの見方/試合メモの取り方」
 授業開始前に、ディベート班(※2)ごとの着席と、プロジェクターの準備を済ませておく。
 ※2 各クラス、1 チーム 4 人、2 チームで 1 ディベート班、計 5 ディベート班を編成する。
- (5) 担当者：各クラス担任（各教室で実施）

〇〇：1・8組、〇〇：2・3組、〇〇：4・5組、〇〇：6・7組、〇〇：9・10組

(6) 本時の指導計画

段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点
導入 2分	本時の内容の確認	<ul style="list-style-type: none"> ディベート班に分かれて着席する。 論理的思考を実践する場の例として、ディベートを行うことを認識する。 	<ul style="list-style-type: none"> ディベート班で着席をさせておく。 本時は「ディベート」とその流れについての認識を行うと伝える。 ディベートを行うには事前準備が大切であることを伝える。
展開 1 27分	ディベートについて【You Tube 視聴】	<ul style="list-style-type: none"> ディベートについて理解する。 とくに、立論・反駁のための論理的思考が大切なことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【資料A】を配布する。 YouTube を視聴させる。 【資料A】を基に、ディベートのルールや流れ、試合での役割などを適宜補足する。動画には特に 3. ルールに関しての解説はない。
展開 2 11分	論題発表・選択	<ul style="list-style-type: none"> ディベート班で、一つずつ選択する。 	<ul style="list-style-type: none"> 班に 1 枚【資料B】を配付し、テーマから論題を作成させる、または、一つずつ選択させる。 教員は採択した論題をメモしておくことが望ましい。 各クラス内で重複のないよう、一つずつ出るように調整できることが望ましい。
展開 3 7分	課題説明・調べ方	<ul style="list-style-type: none"> 今後の課題を確認する。（ループリックも参照） Cinii や Google Scholar など、出典が確かなものへのアクセス方法について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【課題説明】および【課題プリント】を配付する。 課題についての説明を行う。課題の提出は各個人で行うが、課題についてチーム内で情報共有を行ってもよい。 【資料C】を配付する。
まとめ 3分	本時のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> AKC ファイルを持ち帰ることができる。 空き時間に、図書館やタブレットを使って調べられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の AKC は、ディベートの実践に向けて、実際にプランを考えていくため、準備構想をしておくことを伝える。

探究 AKC I ディベート準備レポートについて (課題)

○趣旨

- ・プランの決定の際には、その論題の概要や、政策の知識が必要不可欠であり、現在係争的に議論されている内容についても知っておく必要がある。
- ・準備レポート (A3 裏表 ; 別紙) に、プランや肯否に分かれた際に有効となる資料を 4つ以上 収集し、まとめておく。(新聞記事・論文のコピー・HP のコピー・論文のコピーなど ×Wikipedia など) → 公刊された出版物で第三者が入手可能なものや政府の公表した報告書など出自が明らかなもの。
- ・資料の出典 (記事の発行日時・HP サイト名・URL など) を必ず明記すること。

○提出方法

- ・AKC ファイルにレポート及び資料をすべて挟み、提出する。

○提出日

- ・追って指示する。

○記入例

【新聞】

タイトル : 「ディベートの方法」
作者・出版社 (HP ; URL) : ○○新聞社
出版年月日 (HP ; 閲覧年月日) : 2024 年 9 月 20 日朝刊

【HP】

タイトル : 「AKC I におけるディベートの手順」 0+
作者・出版社 (HP ; URL) : 愛知県岡崎高等学校 HP : https://okazaki-h.aichi-c.ed.jp/cms/
出版年月日 (HP ; 閲覧年月日) : 最終閲覧日 2024 年 9 月 20 日

【論文】

タイトル : 「有効なディベートの方法について」『○○大学紀要』
作者・出版社 (HP ; URL) : 崎岡太郎・○○大学出版会
出版年月日 (HP ; 閲覧年月日) : 2024 年 9 月 20 日

◆レポート評価用ループリック

項目	ミニマムサクセス	フルサクセス	エクストラサクセス
出典	□ 出自が明らかでないものが 2 つ以上ある。	□ 出自が明らかでないものが 1 つ以下である。	□ すべて出自が明らかである。
資料	□ 資料を 1 つ以上集めることができた。	□ 資料を 4 つ収集できた。かつ主張にかたよりが見られる。	□ 資料が 4 つ以上および肯定側・否定側の主張それぞれ集めることができた。
分析	□ 論題についての情報を資料から読み取ることができている。	□ 論題についての情報を資料から読み取り、肯定側、否定側の意見を分けて表現できている。	□ 論題についての情報を資料から肯定側、否定側の意見を集約し、自分の言葉で論点が明確にできている。

論理的思考の実践①～ディベートとは？～

1. ディベートとは

ディベートとは「ある特定のテーマ（論題）の是非について、2チームの話し手が、賛成（肯定）・反対（否定）の立場に分かれて、第三者（審判）を説得する形で、ルールに基づいて議論を行うこと」である。

一、論理的な議論

「対戦相手を言い負かす」のではない、「議論の聞き手が納得できる」ことが目標
つまり、**論理的に説明し、具体的なデータを用いて根拠付けしなければならない！**

一、口頭のみでのコミュニケーション

資料を提示することはできない。言葉で相手を説得する。
つまり、**第三者が分かる声量・スピード・内容で話さなければならない！**

一、ルールに基づいた議論

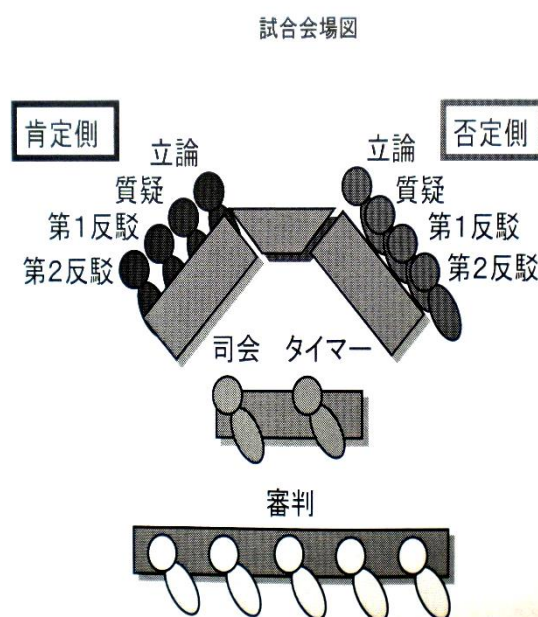
誰が何を話すか、順番と制限時間が限られた中での議論である。
つまり、**事前の準備が重要になる！**

2. ディベートについて

○試合の流れ ディベートは1試合34分（+判定講評）で行う。

肯定側（12分）	否定側（12分）
肯定側立論： 4分	*
*	否定側準備時間： 1分
*	否定側質疑： 2分
*	否定側立論： 4分
肯定側準備時間： 1分	*
肯定側質疑： 2分	*
*	否定側準備時間： 1分
*	否定側第一反駁： 3分
肯定側準備時間： 2分	*
肯定側第一反駁： 3分	*
*	否定側準備時間： 2分
*	否定側第二反駁： 3分
肯定側準備時間： 2分	*
肯定側第二反駁： 3分	*
判定表の完成：3分+講評：5分	

*「質疑（肯定側、否定側）」は、時間以内に終了を認める。



出典：『DVD 教材テキスト ディベートで学ぶ エネルギー問題』（全国教室ディベート連盟 東海支部発行） p. 4。

○勝敗の決定

- ・ 審判の多数決により、票が多い方が勝利となる。同数ならば否定側の勝利となる。

その際、以下のことに留意する

- ・ お互いに主張し合った中で、どちらの論証が正確に行われていたのかを考慮する。
- ・ 数ではなくて、反駁の結果残った論証によって、メリット・デメリットの大きさを考慮する。
メリットの大きさは以下の2点で決まる。
 - ① メリット・デメリットの**発生度合い**
 - ② メリット・デメリットの**重要性・深刻性**メリットが大きければ肯定、デメリットが大きければ否定に一票を投じることになる。

○試合での役割

肯定側・否定側にそれぞれが以下の役割を担う。

立論	言葉の定義、「プラン」の提示、メリット・デメリットの説明 ※プランとは論題を実行するための具体的な政策のこと
(応答)	質疑からの質問に対して回答する。 ※基本的には立論が担当する。
質疑	相手の立論の明確化、相手の弱点のアピール
第一反駁	(肯定側) 否定側立論への反論と否定側第一反駁への再反論 (否定側) 肯定側立論への反論
第二反駁	(肯定側) 否定側第二反駁への再反論、議論の総括 (否定側) 肯定側第一反駁への再反論、議論の総括

- ・ 1 グループ肯定側4人、否定側4人、計8人で試合を行う。立論(応答)、質疑、第一反駁、第二反駁の4つの役割をそれぞれ1人が担当する。
- ・ 判定と講評では、審判による勝敗決定・勝敗判定理由の発表を行う。

3. 試合のルール

- ・ ディベートを行わない者が全て審判・判定を行う。審判はディベートシートに記入をしながら公正にジャッジを行う。
- ・ 次の試合を行うグループの班長が司会、副班長が計時を行う。
- ・ 制限時間をオーバーした場合、オーバーした部分は判定に含まない。
- ・ 証拠資料に使用できるのは以下の2つである。

- ① 公刊された出版物で第三者が入手可能なもの、及び、政府の公表した報告書などこれに準ずるもの(インターネット上の情報、独自のインタビューや調査結果など)
- ② 証拠資料の引用では、肩書きと氏名・発行年を示す、証拠資料が引用されている部分を明記する必要がある。

- ・ 反駁を行う際には以下の2点に注意する。

- ① 相手が持ち出した主張、根拠に反論する場合を除き、反駁で新たなメリットやデメリット、根拠を提示してはいけない。
- ② 第一反駁で出せる反駁を第二反駁ではじめて出してはいけない。

ディベートに関するテーマ、論題一覧

○環境

日本は、原子力発電所を今後も新設すべきである。是か非か。
日本政府は、(ハイブリッド車も含む)化石燃料車の製造と販売を 2035 までに禁止すべきである。是か非か。
日本はごみ収集を有料化すべきである。是か非か。 * ごみ収集の有料化は、全国で行うものとする。 * ごみ」とは、産業廃棄物を除くすべての廃棄物とする。 * 「有料化」とは、ごみの量に応じて料金を徴収することとする。
日本はレジ袋税を導入すべきである。是か非か。 * レジ袋とは買い物などで、商品を運ぶために街の商店やスーパー、コンビニから無料又は有料で受け取る手提げ袋のことをいう。 * 客はレジ袋を1枚渡されるごとに5円を支払い、店は所在する市区町村に納入するものとする。 * 納められた税金は市区町村の環境対策費にあてる。
日本はすべての乗用自動車を電気自動車に切り換えるべきである。是か非か。 * 乗用自動車とは、主に人の移動に使用される定員10人以下の自動車とする。 * 電気自動車とは、二次電池、太陽電池、燃料電池からの電気のみを動力源とする自動車とする。 * 2026年1月1日以降、国内では電気自動車以外の走行を禁止するものとする。
日本政府は核燃料の再処理を放棄すべきである。是か非か。
日本国政府は炭素税を導入すべきである。 * 炭素税とは化石燃料の輸入及び製造にかかる税とする。 * 税額は炭素1トンあたり一定額とする。 * すべての業種を対象とし、例外は認めない。
日本は環境税を導入すべきである。是か非か。 * 導入は2030年とし、税額は炭素1トン当たり3万円とする。
日本はすべての原子力発電を代替発電に切り替えるべきである。是か非か。 * 切り替えは2030年までに行うこととする。
日本政府は、製造業一般におけるリサイクルされた資材の使用を増加させる政策を行うべきである。是か非か。

○自動運転

日本国政府は、自動車運転に(最高)年齢制限を設けるべきである。是か非か。
日本は自動運転の導入に伴い、免許証を撤廃すべきである。是か非か。

○バイオテクノロジー

日本国は、本人の意思による積極的安楽死を合法化すべきである。是か非か。
日本政府は、全ての遺伝子組換え食品の輸入・製造・販売を禁止すべきである。是か非か。
日本政府は医療行為としての安楽死、あるいは脳死した提供者からの臓器移植を合法化すべきである。是か非か。
日本国政府は、人クローン胚の作成および人体への応用に関する規制を大幅に緩和すべきである。是か非か。

○情報化社会

日本は未成年者の携帯電話使用を大幅に制限すべきである。是か非か。 *すべての未成年者が携帯電話・PHSを所有することと継続的に借用することを禁止する。 *勤労者が職務上必要な場合についてのみ、例外規定を設けてよい。
日本はフェイクニュースを規制すべきである。是か非か。 *ここでいうフェイクニュースとは、虚偽の事実について、虚偽であることを分からない形で不特定多数をあざむく意図をもって作成された情報をいう。 *以下の三つを禁止する。 1. フェイクニュースを発信すること。 2. フェイクニュースと知りながらそれを拡散すること。 3. 発信者または管理者がフェイクニュースを訂正または削除せず放置すること
日本は違法ダウンロードを厳罰化すべきである。是か非か。

○政治

日本政府は、難民の受け入れを大幅に拡大すべきである。是か非か。
日本国は、国会における女性の議員割合を増やすために、ジェンダー割当て制度を採用すべきである。是か非か。
日本政府は、首都機能を東京の外に移転すべきである。是か非か。
日本は、移民政策を大幅に緩和すべきである。是か非か。

○経済

日本政府は、全ての事業主に定年制の廃止を義務づけるべきである。是か非か。
日本国は、残業も含めた週あたりの最長平均労働時間を、(EUにならい) 48時間に制限すべきである。是か非か。
日本政府は、カジノをとまなう統合型リゾート(IR)の推進をやめるべきである。是か非か。
日本政府は、日本のすべての市民にベーシック・インカムを給付する社会保障制度を採用すべきである。是か非か。
日本政府は輸入米の関税を撤廃すべきである。是か非か。

ディベート準備レポート (課題)

1年 () 組 () 番 氏名 ()

◇論題 (自分の班が選択したもの)

--

◇資料1

タイトル:	
作者・出版社 (HP ; URL) :	
出版年月日 (HP ; 閲覧年月日) :	
この資料の主張のまとめ	
肯定的意見	否定的意見

◇資料2

タイトル:	
作者・出版社 (HP ; URL) :	
出版年月日 (HP ; 閲覧年月日) :	
この資料の主張のまとめ	
肯定的意見	否定的意見

◇資料3

タイトル：	
作者・出版社（HP；URL）：	
出版年月日（HP；閲覧年月日）：	
この資料の主張のまとめ	
肯定的意見	否定的意見

◇資料4

タイトル：	
作者・出版社（HP；URL）：	
出版年月日（HP；閲覧年月日）：	
この資料の主張のまとめ	
肯定的意見	否定的意見

☆この4つの資料から主張できそうなこと

肯定側	否定側

タイトル：	
作者・出版社（HP；URL）：	
出版年月日（HP；閲覧年月日）：	
この資料の主張のまとめ	
肯定的意見	否定的意見

タイトル：	
作者・出版社（HP；URL）：	
出版年月日（HP；閲覧年月日）：	
この資料の主張のまとめ	
肯定的意見	否定的意見

◇ + α 資料③

◇ + α 資料③

ディベート資料作成に向けた情報収集について

◇情報収集とメディアの特性

情報収集では、1つの物事を多様な角度から見て深めることが欠かせない。そのために、①～⑥のメディアの特性を踏まえた上で、偏りのないように情報を収集することが求められる。

- ①書籍…信頼度は比較的高いが、出版までに時間がかかるため、速報性はやや下がる。
- ②新聞・雑誌…信頼性と速報性は高く、継続的に刊行されている。
- ③論文（専門書含む）…専門の知識が必要となるが、最新の研究成果を知ることができる。
- ④統計資料（例：内閣府「男女共同参画白書」…官公庁などが調査・分析結果を公表している。
- ⑤データベース（例：CiNii, J-STAGE など）…論文や雑誌にオンライン上でアクセスできる。
- ⑥ウェブサイト（HP）…速報性は高いが、信頼性には気をつける必要がある。

◇データベース（論文検索サイト代表例）

CiNii Research

国立情報学研究所（NII）が運営する日本の論文検索エンジン。日本の論文に特化。
本文の PDF ファイルへのリンクがない場合もあるため、「本文あり」をチェックしておくとうい。

ホーム画面（※詳細検索展開状態）

The screenshot shows the CiNii Research homepage. At the top, there are navigation links: CiNii, 論文・データをさがす, 大学図書館の本をさがす, 日本の博士論文をさがす, ログイン, and English. The main search area has a large 'フリーワード' (Free Word) search bar and a '検索' (Search) button. Below this are fields for 'タイトル' (Title), '人物/団体名' (Person/Institution Name), 'ISSN', 'DOI', and '期間' (Period). There are also checkboxes for '本文リンク' (Full-text link) and '本文リンクあり' (Full-text link available). A grid of data sources is listed, including JstC, IRDB, Crossref, DataCite, NDL, NDL-Digital, IDR, JDCat, NINJAL, CiNii Articles, CiNii Books, CiNii Dissertations, RUDA, DBpedia, Nikkei BP, KAKEN, and Integbio. At the bottom, there are tabs for 'すべて' (All), '研究データ' (Research Data), '論文' (Articles), '本' (Books), '博士論文' (Doctoral Theses), and 'プロジェクト' (Projects).

検索結果画面

The screenshot shows the search results page for CiNii Research. At the top, there are navigation links: CiNii, 論文・データをさがす, 大学図書館の本をさがす, 日本の博士論文をさがす, ログイン, and English. Below this is a summary bar showing the number of results for each category: 'すべて' (All) 12, '研究データ' (Research Data) 0, '論文' (Articles) 12, '本' (Books) 0, '博士論文' (Doctoral Theses) 0, and 'プロジェクト' (Projects) 0. The main search area has a '検索結果: 12 件' (Search Results: 12 items) and a '1' button. There are filters for 'データ種別' (Data Type) with '論文' (Articles) selected, '本文・本体へのリンク' (Link to full-text/body) with '本文・本体リンクあり' (Full-text/body link available) selected, and '期間' (Period) with '2000' to '2021' selected. The search results are displayed in a list, with the first result being '教職課程履修学生によるディベートの取り組み：『総合的な学習の時間』における活用を念頭に' (Activities of Debate by Teacher Education Students: Considering the Use of Debate in 'Integrated Learning Time'). The second result is '上級日本語授業におけるディベート活動の実践' (Practice of Debate Activities in Advanced Japanese Language Classes).

Google Scholar

様々な学問分野の研究論文を検索でき、全文 PDF ファイルへのリンクも取得できる場合が多い。
Google アカウントと連携し、論文を保存することもできる。

ホーム画面



検索結果画面

